

もくじ

口 絵

まえがき／田中 修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

I 真田氏開削の用水群とその活用／田中 修・・・・・・・・・・ 11

第一章 沼田藩真田氏開削の用水群とその魅力・・・・・・・・・・ 12

一、沼田藩真田氏の石高について

二、真田氏開削の用水群の総数、管理の状況

三、水田農業と近世の村づくり・集落共同体の形成

第二章 各用水の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

一、白沢用水と滝坂川（城堀川）

二、沼須用水（信之・信政）

三、川場用水（信吉）

四、四ヶ村用水（信政）

五、大清水用水と溜池群（信政）

六、間歩用水（信政）

七、三字用水（信利）

八、奈良用水（信利）

九、押野用水（信利）

II 沼田藩真田氏の用水群の開削・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41

第一章 三万石から一四万石へのからくり

―沼田藩真田氏の地域政策― / 丑木幸男・・・・・・・・・・ 42

はじめに

一、三万石から一四万石余へ

二、石高制

三、沼田藩の地域政策

まとめとして 沼田真田氏の地域政策

第二章 白沢用水・滝坂川（城堀川） / 金井竹徳・・・・・・・・・・ 77

一、滝坂川の水みち（白沢用水・川場用水）

二、白沢用水と川場用水の歴史

三、城堀川（白沢用水）の水みち

四、城堀川の水みち（白沢用水と川場用水合流）

おわりに

第三章 沼須用水の概要 / 金井竹徳・・・・・・・・・・・・・・・・ 86

はじめに

一、沼須用水の歴史

二、用水の流路

三、沼須用水の現状

おわりに

第四章 川場用水 — 沼田藩真田氏の用水開削と新田開発 — / 藤井茂樹…………… 91

はじめに

一、信之の城普請と町づくり

二、川場用水開削の時期と経緯

三、川場用水の規模と工夫

四、真田用水と新田開発

五、川場用水の灌漑面積

六、用水維持の負担

まとめ

第五章 四ヶ村用水 / 渋谷 浩…………… 116

はじめに

一、北条氏の滅亡

二、真田信幸（之）と沼田領

三、四ヶ村用水

四、四ヶ村用水を守ってきた農民の足跡

おわりに

第六章 間歩用水 — 吾妻郡中之条町 — / 藤井茂樹…………… 134

一、真田氏と用水開削

二、間歩用水の開削年代

三、取水と流路

四、開削工事

五、間歩用水の保存を

第七章 三字用水、奈良用水／高山 正・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 142

一、岡谷用水（三字用水の一つ）

二、奈良用水

三、用水調べの取り組み

第八章 押野用水の開削と藩政改革／利根川太郎・・・・・・・・・・・・・・・・ 158

はじめに

一、押野用水に関する史料

二、「須川記」から（『新治村史料集』第一集）

三、「押野堰開鑿紀功碑」（『利根郡誌』『金石文七十五』から）

四、押野堰開鑿技術について（『新治村誌』三〇九頁参照）

五、用水の取り入れ口（河合雄一郎家文書〈県立文書館蔵〉参照）

六、押野堰の維持管理について

七、沼田藩の歴史的背景について

まとめ

第九章 押野用水と歩んだ大字東峰須川／河合明宣・・・・・・・・・・・・・・・・ 189

一、押野用水工事の特徴

二、用水路の配置と既存水田

三、水番と「押野堰用水懸田反別帳」安永四年（一七七五）

四、押野用水の近年の変化・潜在的食糧自給率と農業の多面的機能

まとめ

おわりに／田中 修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 204

まえがき

真田用水研究会立ち上げのきっかけは、平成二十八年NHK大河ドラマ「真田丸」の放送決定で、放送開始直前から講演会も含め合計五回の研究会を開催したことである。

第一回真田用水研究会は、平成二十七年十二月川場村で「川場用水の概要と見学会」を開催。第二回研究会は、翌二十八年一月大河ドラマ放送開始、三月みなかみ町で「四ヶ村用水の概要と見学会」を開催。第三回研究会は、同年六月の放送大学「土曜フォーラム」に共催し丑木幸男氏講演会「沼田藩真田氏、三万石から十四万石へのからくり」を沼田市で実施。第四回研究会は、同年十月にみなかみ町新治支所にいほるで「押野用水の概要と見学会」を開催。第五回研究会は、平成二十九年七月に沼田市で「女坂・奈良用水、沼須用水の概要と見学会」を開催。

その結果、真田用水群開削の背景には、沼田藩真田氏五代の藩政改革と近世村づくりが深く関わっていることが明らかになった。そこで研究会での講演、報告要旨をこのまま眠らせておくのは惜しいとの声もあり、その成果を一冊にまとめることにした。